

令和8年度 江別市立野幌中学校 学校経営グランドデザイン

法令や学習指導要領

<教育基本法>
「教育は人格の完成を目指す」
<学習指導要領>
「知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や豊かな人間性を育成」

北海道教育推進計画

「自立」
「北の大地で世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む」
「共生」
「ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む」

野幌中校区【目指す子ども像】

夢に向かい 行動する子

学校教育目標

理想の実現を目指し、気高く生きなん

- ◎ 自ら学び 粘り強く 課題を追求する生徒 【知】
- ◎ 広い視野を持ち 思いやりあふれる生徒 【徳】
- ◎ 生命を尊重し 心身ともに健康な生徒 【体】

重点教育目標

自己指導能力を身につけた生徒の育成

石狩管内教育推進の重点

テーマ「子どもの未来保障」
～多様な子ども一人一人の資質・能力を育成する質の高い石狩の教育～
重点1「資質・能力を確実に身につける教育の推進」
重点2「安心して学べる支援の充実」
重点3「学びの質を高める環境の確立」

江別市の学校教育が目指すもの【目指す子ども像】

「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」
「子どもが主役のまち宣言」

生徒の実態

○安定した地域・家庭環境に支えられ、集団生活や学習に意欲的である。
○素直で優しく、周りに対する気遣いができる生徒が多いが、自分の気持ちを表現することや、自己肯定感の低さに課題がある。
○物事に対して自ら向き合うことはできるが、粘り強く取り組む姿勢や逆境に負けない心身のたくましさの面で課題がある。
○学習の習熟度は高い傾向にあり、言語的な情報を活用・表現する力に優れているが、データの活用面に課題がある。

スローガン：みんなで持とう「野中プライド」

- 誰に対しても心のこもった挨拶ができる生徒
- 夢や目標に向かいトライ＆エラーで成長する生徒

育成を目指す生徒の資質・能力【生きる力】

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
自ら理想の実現を目指し 気高く生きなん 【意】	①自己を見つめ、夢や目標を持ち、実現に必要な力や、「今」何をすべきかを理解している。	②夢や目標に向かってトライ＆エラーを繰り返しながら前進する。	③様々な経験を生かし、新たなことに挑戦する。
自ら学び粘り強く 課題を追求する子 【知】	①教科等における基本的な知識や技能が定着している。	②精査した情報を基に自分の考えを形成し、表現し振り返る。	③自らの思考過程を客観的に捉え、持続可能な社会を探究する。
広い視野を持ち 思いやりあふれる生徒 【徳】	④あいさつや時間を守る等の基本的な生活習慣が身に付いている。	⑤多様な考えを理解し、集団としての考えを形成する（合意形成）	⑥芸術文化を味わい、多様性を理解し、平和な社会を希求する。
生命を尊重し 心身ともに健康な生徒 【体】	⑦基本的な運動技能や集団行動を身に付け、自ら体を動かす。	⑧命を大切にし、楽しみながら仲間とともに運動する。	⑨健康な体を維持し、地域社会に貢献しようと努力する。

<成果指標> = 生徒アンケート項目	R5(4)	R6(4)	R7(4)	R8(4)	R8(7)	R8(12)
① 自分には、良いところがあると思いますか	85.5	79.8	73.3			
② 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.8	91.9	93.9			
③ いじめは、どんな理由があっても許されないとはいえませんか	93.7	95.0	97.7			
④ 将来の夢や目標を持っていますか	63.0	65.7	59.6			

項目の①～③は小中で共通

学校経営の重点

1. 安全・安心・信頼される学校運営
【現実の社会で起こる事象への備え・情報モラル・メディアリテラシー・交通安全指導】
2. 生徒指導の4機能を生かした授業づくり・学級経営（生徒指導提要）
【①自己存在感の感受 ②共感的な人間関係 ③自己決定の場 ④安全安心な風土の醸成】
3. 「自己決定」「自己表現」「振り返り」による粘り強く挑戦する態度の育成
【粘り強さや逆境に負けない心身のたくましさの向上】⇒ 野中プライド（トライ＆エラー）
4. 支援が必要な生徒へ寄り添う体制の充実
【生徒理解・合理的配慮に基づいた支援活動の強化】

重点とする具体的な取組

重点1「学習指導の充実」

- ①対話を重視した主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の向上
 - ・生徒の学習意欲や課題意識を高める、対話を重視した「わかる授業」の工夫
 - ・生きて働く「確かな知識」を活用できる思考力、判断力、表現力等を発揮する場面の設定
- ②ICT等の効果的な活用による基礎・基本の定着と価値交換による関連性を見出す力の育成
 - ・ICT等を有効活用し、自身の考えをまとめ、他者との価値交換を行う場面の設定
 - ・ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

重点2「生徒指導の充実」

- ③生徒や保護者とのリレーションを意識した相談活動の充実
 - ・いじめや生徒指導課題における未然防止の取組
 - ・自尊感情や自己肯定感、自己有用感を高め、自ら夢に向かって物事に当たるための支援
- ④生徒の社会的な自立を目指した不登校生徒の支援、特別支援教育の充実
 - ・持続可能な支援体制（組織）づくりと、必要性に応じた運営・活用
 - ・個別の教育支援計画等の効果的な活用と組織的な取組
 - ・関係機関との積極的な連携や推進

重点3「特別活動等の充実」

- ⑤生徒の主体的な活動とウェルビーイングを高める活動の充実
 - ・「野中プライド」の育成と「トライ＆エラー」を意識した委員会活動の充実
 - ・ボランティア活動などの社会貢献を通して、お互いを尊重し合える生徒の育成
 - ・「見える・聞こえる」生徒会活動の工夫
- ⑥自己有用感・所属感・連帯意識を高める行事の工夫
 - ・自己理解、他者理解を深め、認め合える活動の充実
 - ・自己肯定感を育む人間関係づくりと自己表現ができる環境づくり

重点4「チーム野中の推進」

- ⑦個業の見直しと複数体制での組織的対応の充実
 - ・教職員間での「情報の共有」「目的の共有」等、コミュニケーションの充実
- ⑧「働きやすさ」と「働きがい」のある職場づくりを目指したウェルビーイングの向上
 - ・「時間のゆとり」「心のゆとり」を生む同僚性の高い職場づくり
- ⑨義務教育9年間を見通した、系統的で質の高い教育活動の推進
 - ・野幌中校区小中一貫教育の目指す子ども像『夢に向かい行動する子』の実現を目指し、近隣小学校とのきめ細やかな連携

自己肯定感・自己有用感を育むために家庭、地域、学校が一体となった取組（こどもまんなか社会） *生徒指導提要

自己指導能力 = 児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力